

# そよかぜ 12月園便り

令和5年12月1日(金)

西東京市立そよかぜ保育園

先月は汗ばむような陽気が続き、27℃超えの日もあり **100年振り**に11月の最高気温を更新。やっと11月も半ばを過ぎた頃から本来の寒さがやって来たというのに、それまでの暖かさとの差が大きすぎて体がついて行けない方も多いのではないのでしょうか。

また、日本各地で熊の被害が相次いで人々を脅かし、自然の生態系が崩れていることに不安を感じます。便利な社会と引き替えに自然のあるべき姿が破壊され、それが自分たちへの脅威となって返ってきている...考えさせられますね。

**遠足や収穫体験**、園庭でのバーベキューコンロを使った**秋の味覚を食する**機会などを経て、子どもたちはそれぞれに楽しかった経験を、「**描画**」で表現する姿が見られます。

そよかぜ保育園での「描画」の取り組みは、大人が「今日はリンゴの絵を描きましょう」とか、「運動会の絵を描いてみよう」などとテーマを決めて描くことはしていません。また、「リンゴはこのように描きます」と描き方を教えることもしていません。これは「ooはこう描くもの」と固定概念に捉われることなく、個々のイメージを膨らませて絵を描いてほしいとの願いからです。皆が全く同じものを描き、テーマやお手本がないと何を描いて良いのか分からない...そんなふうにはなってほしくないと思います。

そよかぜでは、子どもたちが自分の頭に思い描いた絵を自由に描いています。幼児期になると、その時に特に印象に残っているもの、心が揺さぶられたものを表現することが多くなるので、今の時期は絵がグンと楽しくなったり、表現が豊かになったりします。

一口に「描画」と言っても、そこには子どもたちの発達にとって大切な要素がたくさん含まれています。

乳児にとっての「描画」はまさに「**なぐり描き**」。体幹がしっかりして腕をどんなふうにかせるようになったかで紙面に描かれる線が変わってきます。そのうちに自分が描いたものに命名するようになります。(例えば丸を描いてママ・パパ・ボール・お月様など)まだ予め「これを描こう」と思って描いているわけではありません。描いていくうちに自分の大好きな人や身近にある物のイメージが膨らんできて、そこから更に楽しい絵が広がっていきます。まだ話し言葉が確立していない乳児にとって、絵は自分を表現する大切な手段の一つなのです。

もちろんそれは幼児にとっても同じで、自分の思いや気持ちを絵に託して表現しています。その子のすべてが一枚の絵に表されていると言っても過言ではありません

また身体の働き、手の働き、感情の働き、言葉の発達などに関わり合って、絵を描く力は発達していきます。

できないことができるようになるということではなく、今その時期にその子に何が大切なのかをしっかりと見極めて、生活や遊びの中で思う存分経験していけるように、そして経験したことを蓄積していけるような日々を過ごしたいと思います。

毎日、接する物事に対して新鮮な目を向け、その中に新しい何かを発見し、それを表現したくなる...そんなふうには絵を描いていけたらいいですね。

<https://soyokaze-hoikuen.net/>

～ 職員の体制についてのお知らせ ～

配布した物にてご確認ください



▼ 親子遊ぼう会・大人みんなの遊ぼう会について

	親子遊ぼう会	大人みんなの遊ぼう会
日時	12月16日(土) 9:00~11:30	12月16日(土) 11:30~12:30
対象者	全クラス親子	大人どなたでも参加可能 (お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん) ※お子さんの参加及び、その時間のみの保育はご遠慮ください
場所・内容	後日、掲示にてお知らせします	
服装	動きやすい服装でご参加ください	
持ち物	水分補給できる物(お茶か水)	

※『お父さん遊ぼう会』から『大人みんなの遊ぼう会』への変更について

11月、12月の親子遊ぼう会後に『お父さん遊ぼう会』を予定していましたが、11月の中止を受け、予定していた内容、時間及び対象者を変更し、短い時間ではありますが、保護者の方々どなたでも参加可能な行事へと変更させていただきました。

▼ CODMON 導入について

西東京市の補助金を受けて、そよかぜ保育園でも保護者の皆様とのコミュニケーションの電子化を進めることになりました。登降園の打刻や、欠席等の連絡がスマートフォンで簡単にできるようになります。また、保育園からのお知らせも「安心伝言板」から新しいシステムに切り替わります。アプリのインストールなどご準備頂くこともありますが、ご協力のほどよろしくお願い致します。詳細は改めてご案内致します。

12月の行事

日	月	火	水	木	金	土
					1 大根掘り	2 年長・一年生 味噌パーティー
3	4 大根掘り予備日	5	6	7	8	9 年長 御陣乗太鼓
10	11 5才みどり交流	12	13 布団乾燥	14	15	16 親子遊ぼう会
17	18	19	20 餅つき会	21 誕生会 避難訓練	22	23
24/31	25 クリスマス会	26	27 年長「森は生き ている」観劇	28	29	30

## 師走 ???

師走というのにこの陽気！寒暖差の激しい毎日。衣装合わせに困ってしまいますね。朝夕と日中の差も大きく、まして保育室は日当たりも良いので子どもたちは半袖で元気よく走り回り、うっすら汗もかいていますから油断大敵！怠ることなく着替えと水分補給しましょうね。生活スタイルも変わり、冬は「こたつでみかん」いうより、アイスやジュースが登場。

食卓にも夏野菜が当たり前のように登場し、木々の変化や畑の作物、八百屋の店先に並ぶ品々から季節を感じる事も少なくなり、いいのかなと心配です。あちらこちらでダムや湖が渇水しているとの報もあり、地球温暖化 実感しています。

## 現代人はみんな冷え症？

子ども達の体温が低く、手足が冷たい子が多くなったなと感じています。

「人」の体温は 36.5 度 健康体温です。子どもは少し高く 37 度前後です。ところが 赤ちゃんでも 「36 度」なんて記述があると心配になります。手足も冷たく沢山衣服を着ても、身体が温まる様子も見られません。きっと血液の循環が悪いのでしょうか。

現代の特徴かもしれませんが、身体の冷えは万病の元とも言われます。夏クーラーの生活に慣れ、汗をかくことも少なくなりました。冬は暖房のきいた部屋が用意され、快適生活です。自ずと体温調節機能は弱まります。そこに登場する冷たい食べ物が身体を冷やす事となり、人間が本来持っている体温調節能力＝自己調整能力を弱めてしまっているのではないのでしょうか。加えて身体を使う事もぐんと少なくなりました。便利グッズが溢れ、水道も手をかざすとお湯が出ます。電動自転車も大活躍し、歩く機会も減りました。生活を快適にしてくれている現代文明がもたらした結果ではないのでしょうか。肩こり・腰痛・冷え症・生理不順・うつ病・目の疲れ・ストレス等など体の冷えからくる問題として見直してみませんか。「私は... だからー」と諦めないで

- 1 手足指を使う
- 2 運動をして筋力を強くする(筋肉を使い熱を生産する)
- 3 朝食をしっかり取る...睡眠中に下がっていた体温は朝食を取ることによって上がり、自律神経のバランスを整え、内臓の働きを良くし冷えの改善に繋がる
- 4 冬野菜(旬の物)を食べる 根菜類や色の濃い物を食べる 等

勿論ゆっくり入浴してリラックスするのも効果があります。入浴は入眠前をお勧めします。寒い時期 からだの中からと外から温める事、出来るところから試してみませんか。

### 職員のつぶやき

わたしは幼い頃からスポーツが得意で体操や水泳、大学も日本体育大学に入学し、これまで色々なスポーツにチャレンジしてきました。中学ではバレーボール部に入部し、「赤鬼」とよばれる顧問の先生に3年間鍛えられ、心も身体も強くなったと思います。その影響なのか、スポーツに関してはとても負けず嫌いになりました。

そして今年、年長の担任となり、子どもたちとリレーやドッジボール等で楽しむことが増えました。大人気ないかもしれませんが、そこでもやはり負けずキライが出てしまい、負けず嫌いな比留間さんと一緒に、子ども相手に本気になってしまいます。時折、悔しい思いをさせてしまうこともありますが、「比留間、文字山みたいになりたいな」と思ってもらえるようにこれからも子どもたちと全力で向き合っていきたいと思っています。